

平成三十年度

附属中学校入学試験問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、問題を開かないこと。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
- 四、試験終了の合図があったら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

〔一〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「情けは人のためならず」ということわざがある。文化庁が行った「平成22年度 国語に関する世論調査」（平成二三年二月実施）全国一六歳以上の男女を対象とした面接調査 二一〇四名が回答によれば、「(ア) 人に情けをかけておくと、めぐりめぐって結局は自分のためになる（情けをかけるのは他人のためではなく、自分のためになる）」という意味で理解している人が四五・八パーセント、「(イ) 人に情けをかけて助けてやることは、結局はその人のためにならない」という意味で理解している人が四五・七パーセントであった。① 正答者が誤答者を上回っているが、(ア)と回答した者のうち② 名が(イ)と答えれば形勢は逆転。○：一パーセントは誤差の範囲内だ。

さて、「情けは人のためならず」は真実か。私は毎日車で通勤しているが、渋滞してなかなか横道から本線に入れない車に道をゆずること（要するに、前に入れてあげること）がある。その入れた車を見ると、それほど時間がたっていないうちに別の車を入れてやったり、対向車線の右折車に進路をゆずったりしていることが多い。家族の車に同乗しているとき、そんな光景を目にしたことがきつとある③ だ。進路をゆずってもらった右折車も、何分か後には他の車に親切を施しているにちがいない。その親切は日本中を④ まわって、何年か後に、私が知らない誰かから進路を

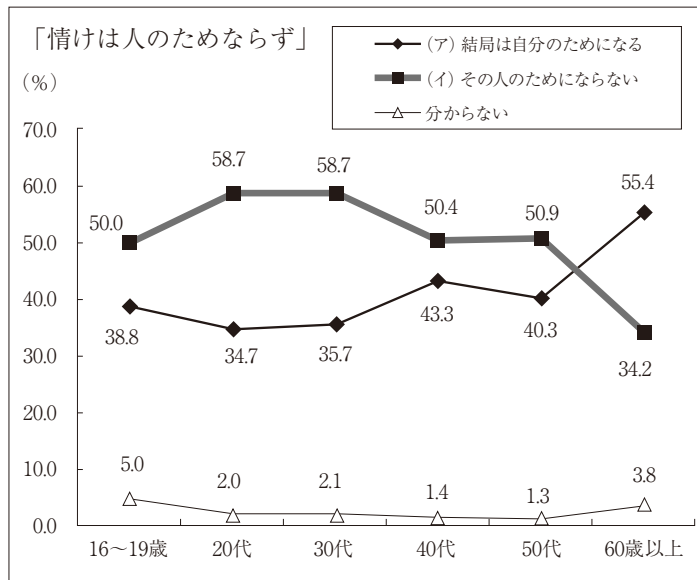


図1 「平成22年度 国語に関する世論調査」より

ゆずってもらうことになるのだ。「情けは人のためならず」だ。してもらったという幸福感は伝染する。「幸せの鎖反応」だ。⑥、してもらった自分が何もしないままでは恥ずかしいという感覚かもしれない。受けた恩は返さなければいけない。「恩返し」の⑤「鎖反応」と言えなくもない。

「恩送り」ということばを知っているだろうか。人形浄瑠璃や歌舞伎の演目の一つである『菅原伝授手習鑑』（一七四六年）の「寺子屋」の場面に「健気な八つや九つで、親に代わって恩送り」という松王丸のセリフがある。松王丸はかつて菅丞相（菅原道真のこと）に大きな恩を受けたが、菅丞相は死に、恩返しができないままにいる。松王丸の子ども小太郎が菅丞相の子息である菅秀才の身代わりとなって死ぬことになるのだが、その場面でのセリフだ。恩返しの対象の菅丞相が亡くなった以上、恩を返すことができない。⑦、自分自身ではなく、わが子の命ではあるが、それを菅丞相の子息に捧げることが恩返しになるというのだ。恩は本人に返すだけとは限らない。別の人に送る恩返しもある。恩を送る―「恩送り」だ。

年令を重ねるにつれて、恩を返す相手がどんどんいなくなっていくと、「恩送り」ということばが自分への⑧になる。自分がしてもらってうれしかったことは、その相手にもしてあげたいと思う。⑨、仮に本人がいなくなっても、嘆くことはない。その人の縁者、あるいは見ず知らずの相手に対してであつても、同じことをしてあげればよい。受けた恩は返さなくてもよい。送ればよいのだ。「情けは人のためならず」ということわざの裏には、「恩は送るものだ」という考え方が隠れているように思う。

「袖振り合うも他生の縁」という。「袖すり合う」ではなく「袖振り合う」だとか、「多少」ではなく「他生」だとかいうのはよく言われるところだ。「他生」とは「現世（今、生きているこの世）」に対して「前世（この世に生まれる前の世）」のことで、「この世でのちよつとした関係でも、実は前世からの因縁によるものだ」というのがことわざの意味だ。「あな

たは生まれ変わりを信じますか？」という話をするつもりはない。テーマは「情けは人のためならず」だ。ただ、仏教が生活の中に深く根付いている日本では、自分がかけた情けは自分が生きている間に報むくいられるとは限らない。⑩をこえて自分の子どもに返るかもしれないし、⑪をこえて自分の来世（この世を終えた後、生まれ変わった世）に返ってくるかもしれない。「恩送り」にタイムリミットはないのだ。

問一 ① ④ ⑧ に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| ① | ア | おそらく | イ | ずいぶん | ウ | どうか | エ | ほとんど | オ | めっきり |
| ④ | ア | がらがら | イ | ぎりぎり | ウ | ぐるぐる | エ | げらげら | オ | ごろごろ |
| ⑧ | ア | あきらめ | イ | あため | ウ | たしかめ | エ | なぐさめ | オ | みきわめ |

問二 ② に入る最も小さい整数を漢字で書きなさい。

問三 図1を見て、今後（ア）と（イ）との比率はどのように変化すると予想されますか。理由をふくめて六十字以上八十字以内で書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

問四 ③ に入る最も適当なことを、ひらがな二字で書きなさい。

問五 — 線部1「私が知らない誰かから進路をゆずってもらう」について、「私にとって知らない人から」という意味ではなく、「私自身が進路をゆずってもらう」という意味に理解できるようにするにはどのようなしたらよいですか。

語順を入れかえて答えなさい。

問六 ⑤ に入る最も適当な漢字を一字で書きなさい。

問七 ⑥ ⑦ ⑨ に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア あるいは イ いわば ウ さて エ しかし オ そこで

問八 — 線部2「人形浄瑠璃や歌舞伎」は何時代に発達したものですか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 平安 イ 鎌倉 ウ 室町 エ 江戸 オ 明治

問九 — 線部3「菅原道真」は、大宰府(福岡県)に流されたとき、次の歌をよみました。□に入る最も適当な

ものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

東風吹かばにほひおこせよ □の花 主なしとて 春を忘るな

(もし東の風が吹いたなら、その風にのせてお前においてお私のもとまで届けておくれ、□の花よ。主人がいないからといって、春を忘れてはいけないよ。)

ア 菊 イ 梅 ウ 松 エ 桜 オ 薔薇

問十 — 線部4「それ」とは何のことですか。文中より五字でぬき出しなさい。

問十一 ⑩ ⑪ に入る最も適当なものを次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 生 イ 死 ウ 時 エ 空 オ 地

問十二 — 線部5「受けた恩は返さなくてもよい。送ればよいのだ」という筆者の考えに対して、あなたはどうか考えま

すか。理由をふくめて百字以上百二十字以内で書きなさい。ただし、句読点も一字として数えます。

〔二〕

次の——線部1～10のカタカナを漢字に直しなさい。ただし、送り仮名の必要なものは、それも答えなさい。

- 1 野球でネッセンがくりひろげられる。
- 2 あの打者とはアイシヨウが良い。
- 3 勝利をオサメル。
- 4 かんとくのシジに従う。
- 5 野球レンメイに加入する。
- 6 球が当たりフシヨウする。
- 7 適切なシヨチをする。
- 8 作戦をネル。
- 9 球場がカンシユウでうまる。
- 10 白線がマジワル。

〔三〕

次の1～10に漢字一字ずつを入れて、例のように熟語しりとりを完成させなさい。

例 手話—話題—題材—材料—：

- 1 科(1) — (1) 標 — 標(2) — (2) 別 — 別(3) — (3) 言 — 言(4) — (4) 理 — 理(5) — (5) 像
- 2 愛(6) — (6) 心 — 心(7) — (7) 感 — 感(8) — (8) 礼 — 礼(9) — (9) 従 — 従(10) — (10) 月

〔四〕

次の1～5の□に入る漢字一字を答え、さらにその意味を後のア～オから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 石の□にも三年
- 2 転ばぬ□のつえ
- 3 立て板に□
- 4 □降って地固まる
- 5 □のうわさも七十五日

〈意味〉

- ア 失敗しないように、前もって注意することが必要だ。
- イ どんな世間をさわがせたことでもすぐに忘れさられてしまう。
- ウ しんぼうすれば、必ず成功する。
- エ すらすらとよどみなくしゃべる。
- オ 物事が起こった後、かえって前よりもよくなる。

〔五〕

次の1～5の外來語の意味をア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

1 ダメージ 2 メディア 3 メリット 4 トラブル 5 シンボル

〈意味〉

ア もめごと イ 損害 ウ 象徴 エ 情報伝達手段 オ 利点



〔六〕

次の絵画はクロード・モネが一八七〇年代に描いたある港の風景です。（問題作成上、絵の明るさを変えています。）
一日のいつごろを描いているでしょうか。また、そう考えた理由を説明しなさい。